



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行  
インターネットでも  
ご覧いただけます。

<http://www.jcp-ktib.com/>

ご相談は  
お気軽に

市議会議員  
福田 明  
43-0468

市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

# 「政治の春」をめぐって

市議会議員 福田 明



「格差と貧困の広がり」が指摘されるなかで、「水道が止められる」「家まで競売にかけられる」・・・「どうすればいいのか」。こ

んな相談が相次いでいます。タイ国で暮らしている友人がいます。同国では、失業者は日本よりはるかに多いけれども、親族や知人の家に来て食事を共にして楽しく過ごしているといいます。かつて松下電器を見学したヨーロッパの青年が、



初日の出を迎える (大津岬から)

# 「地方自治」の本旨に

市議会議員 鈴木やす子



すさまじい流れ作業を目の当たりにして「ここで働くくらいなら、こじきになつたほうがいい」と真顔で語つたと聞きます。それに比べて今日の日本は、人生に一度つまずくと生きていけない、なんと底の浅い社会かと痛感します。

今年の初日の出は穏やかな幕開けとなりました。

昨年をふりかえると、介護保険法の見直し・改悪、自立支援法、庶民増税と悪

政が市民の暮らしを直撃しました。特にお年寄りいじめの政治は目にあまるものがあり、75才以上を対象とした新たな保険制度では平均6200円の負担増、介護保険料とあわせると月一万円近くも年金から天引

昨年から「しんぶん赤旗」を自転車で配達しています。が、路地裏をゆっくり走れば庶民の生活の臭いがし、四季の花々にも心を寄せる余裕も生まれません。今年も議員になって25年になります。これまでは、ただ無我夢中で走ってきた感じがします。今年はずっと市民の暮らしを深部までつかんで、「政治の春」をめぐらしてがんばりたいと思います。

きされてしまいます。「これでは暮らしていけなくなる」という切実な声が寄せられています。これまで社会を支えてきたお年寄りにこんな仕打ちをする政府に、国を愛するなどという教育基本法を改定する資格などありません。

一方、サービス残業の是正をはじめ労働条件の一定の改善をみることができました。派遣労働の非人間的な実態や過労・タダ働きは許せないという多くの声が、日本共産党の国会論戦と結んで勝ち取ったものです。



市商工会主催の恒例「新春賀詞交換会」が1月10日、商工会館で開催されました。写真は、主催者あいさつに立つ長瀬会長。

## 新春点描



ことしの市内の新成人は610名。7日、白浜会館で催された成人式祝典には513名が出席しました。



消防出初め式は7日、市民体育館での開催となりました。村田市長が点検官訓辞をおこない、佐呂間町での竜巻被害などにふれ、いっそう災害対策への心構えが必要と強調しました。

### 訂正 前号で、自立支援

法に関する記事で、「利用料の1割と食費部分も負担増になりました。すでに軽減策が実施されています」とは、正しくは、たとえば東京都・区などは、たとえ軽減策が実施されている自治体があるということですが、今後、北茨城市でも実施を求めたいと思います。